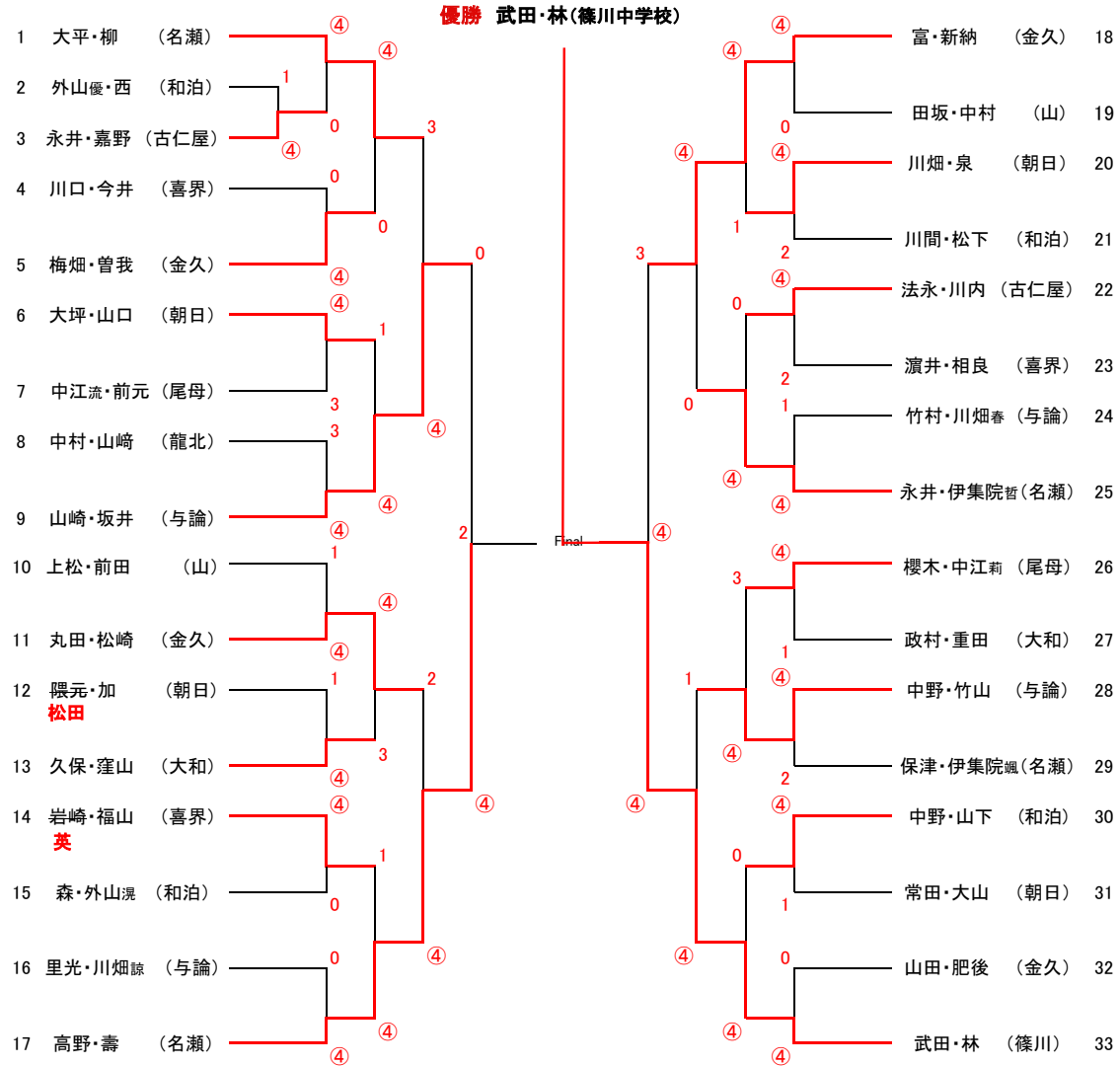


平成30年 6月14日(木)

進行予定表(雨天時)



屋内多目的運動場			
コート	1コート	2コート	3コート
番号	1~17	10~17・26~33	18~33
初戦審判	1	17	33
第1試合	2~3	10~11	18~19
第2試合	1~3	26~27	20~21
第3試合	4~5	12~13	22~23
第4試合	6~7	28~29	24~25
第5試合	8~9	14~15	18~21
第6試合	1~5	30~31	22~25
第7試合	6~9	16~17	26~29
第8試合	10~13	32~33	30~33
第9試合	1~5	14~17	18~25
第10試合	10~17	26~33	
第11試合	1~17	18~33	準決勝
第12試合		1~33	決勝

県中総体出場資格
準々決勝 ベスト8 ペア

審判について...1回戦は指定する。以降は敗者審判
【晴天時】全7ゲーム

< 対戦結果 >

- 1位 武田・林 (篠川中学校)
- 2位 高野・壽 (名瀬 ")
- 3位 富・新納 (金久 ")
- 4位 山崎・坂井 (与論 ")
- 5位 中野・竹山 (与論 ")
- 6位 丸田・松崎 (金久 ")
- 7位 永井・伊集院 (名瀬 ")
- 8位 大平・柳 (名瀬 ")

※ 県中総体出場資格 ベスト8ペア

【競技上の注意】

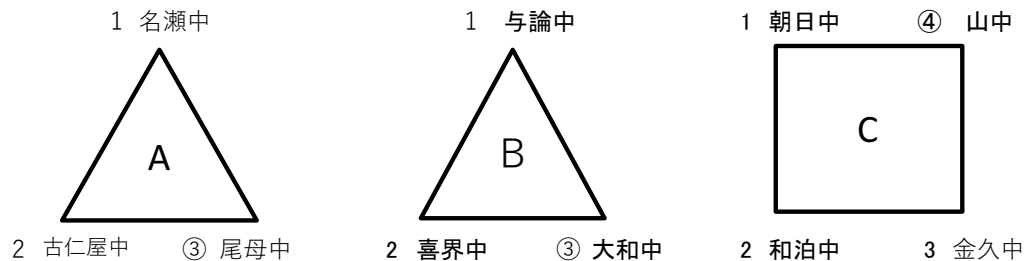
- 1 全試合7ゲーム。
- 2 審判は初戦は指定するが、2回戦以降は敗者審判とする。
- 3 ベンチは番号の若いチームが舞台に向かって左側とする。
- 4 コール前や相手の態勢が整わないままのサーブは無効とする。
- 5 試合後のジャッジペーパーは、勝者が本部へ届ける。
- 6 次の試合のコールを行うので、コールされたら本部席に代表者1名が集合し、ジャッジペーパーを受け取る。
- 7 正審は試合中むやみに審判台を降りない。
- 8 副審は自分の審判区分を守り、それ以外のジャッジは行わない。(フォルトのみコールし、インなどはコールしない。)
- 9 各チームはボール係を待機させる。

※台風発生予報で滞りの船欠航の為、屋内多目的運動場3面で実施。予選リーグ無し、一発決勝トーナメント、4シード以外6校抽選、全7ゲームマッチ。決勝進出校決定時点で打ち切り。順位については、両校優勝1位(名瀬中学校・朝日中学校) 3位(与論中学校・金久中学校)として大会を終了した。順位について、県中体連専門部長に確認したところ、決勝までの両校の勝率(得失ペア数)や抽選により1・2位を決定する方法を両校監督と専門部執行部で話し合っで決定し、順位を決定して地区代表総括表を作成し提出してくださいということであった。話し合いの結果、得失ペア数で順位を決定した1位名瀬中、2位朝日中となり、3位4位も勝率(得失ペア数)で決定し3位与論中、4位金久中で提出した。

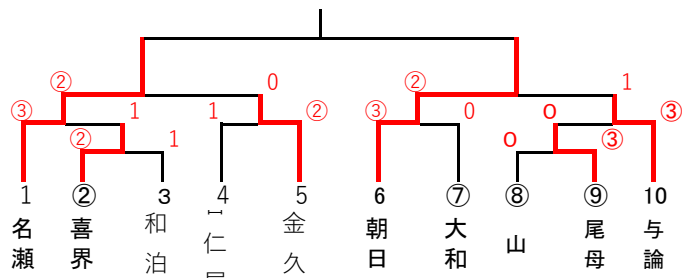
平成30年度 地区総体ソフトテニス競技 男子団体戦(全上がり)

平成30年 6月15日(金)

男子団体予選リーグ (5ゲーム)



男子団体決勝トーナメント(全上がり 7ゲーム)



進行予定表(雨天時)

	多目的屋内運動場		
	1コート	2コート	3コート
第1試合	A1-A2	B1-B2	C1-C2
第2試合	A2-A3	B2-B3	C3-C4
第3試合	A1-A3	B1-B3	C2-C3
第4試合			C1-C4
決勝T審判	1	6	10
第5試合	2-3	4-5	8-9
第6試合	1~3	6-7	8~10
第7試合	1~5	6~10	準決勝
第8試合	1~10	決勝	

←県中総体出場資格
ベスト4

・審判について
予選リーグ…全試合、相互審で行う。
決勝トーナメント…1回戦は指定、以降は敗者審判となる

<対戦結果>

- 1位 **名瀬中学校** 得5ペア失0ペア
- 2位 **朝日中学校** 得5失1
- 3位 **与論中学校** 得4失2
- 4位 **金久中学校** 得2失3

※県中総体出場資格 ベスト4校
3位：優勝校と対戦したチーム
4位：準優勝校と対戦したチーム

【競技上の注意】

- 1 予選リーグは5ゲーム・決勝トーナメントは7ゲームとする。
- 2 各リーグから全チーム、決勝トーナメントへ進出。(①勝率 ②直接対決 ③得失ペア数 ④得失ゲーム数 ⑤得失ポイント数)
- 3 予選リーグの審判は、全試合相互審で行う。決勝トーナメントは、1回戦は指定するが、それ以降は敗者審判とする。
- 4 予選リーグは3番手まで行うが、決勝トーナメントは2点先取とする。
- 5 コール前や相手の態勢が整わないままのサーブは無効とする。
- 6 オーダー用紙は本部へ提出する。
- 7 試合後のジャッジペーパーは、勝者が本部へ届ける。
- 8 次の試合のコールを行うので、コールされたら本部席に代表者1名が集合し、ジャッジペーパーを受け取る。
- 9 正審は試合中むやみに審判台を降りない。
- 10 副審は自分の審判区分を守り、それ以外のジャッジは行わない。(フォルトのみコールし、インなどはコールしない。)
- 11 各チームはボール係を待機させる。